



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社パリミキホールディングス
 コード番号 7455 URL <https://www.paris-miki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 将広
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理担当 (氏名) 加山 雄治 TEL 03-6432-0732
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	12,022	4.5	552	—	903	291.6	712	991.9
2023年3月期第1四半期	11,508	10.9	△25	—	230	—	65	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 705百万円 (171.9%) 2023年3月期第1四半期 259百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	14.02	13.93
2023年3月期第1四半期	1.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	37,857	28,751	74.2	553.06
2023年3月期	37,371	28,204	73.8	542.74

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 28,098百万円 2023年3月期 27,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,300	1.9	1,025	40.0	1,210	0.3	610	21.6	12.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	56,057,474株	2023年3月期	56,057,474株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	5,251,682株	2023年3月期	5,251,589株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	50,805,821株	2023年3月期1Q	50,806,226株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内の経済状況は、原材料価格の高騰についても価格転嫁が徐々に進められていることなど、経済活動が活発になってきていることもあり、景気回復傾向が継続していたものと思われま

す。小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、行動制限がなくなったことによる顧客の購買マインドの向上やインバウンド需要も持ち直すなど回復基調であったと見られます。

当社グループにおきましても、確実に業績は回復してきており、月次の売上高も継続して前年を上回る結果となっております。特にコロナ禍では苦戦していたサングラスと補聴器の売上が好調であり、売上高の増加に寄与しております。

また、統廃合を伴う店舗の移転や改装については継続して取り組んでおり、今後もマーケットの動向を見極めながら計画的に進めてまいります。

海外法人におきましても全ての法人が通常の営業ができる状態になっており、東南アジアの法人を中心に増収となり、前年は再度のロックダウンにより営業損失が大きかった中国法人につきましても、損失額は縮小し改善傾向となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高12,022百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益552百万円（前年同四半期は営業損失25百万円）、為替差益等の計上があったため、経常利益903百万円（前年同期比291.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益712百万円（前年同期比991.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

〔日本事業〕

主要子会社であります㈱パリミキにおきましては、2023年4月1日より新経営体制となり、今までの積極的な店舗改装や移転、新店などの展開を継続しつつも、コスト意識を高めて出退店も精査していく方針であり、さまざまなコストが高騰する中、今までの慣例にとらわれず見直すことにより、販管費を抑え利益体質にしていくことを目指しています。広告宣伝費につきましても効果が見込まれる地域へのCM投入等は継続して行うものの、制作費の負担が大きいものなどについては内容を見直すなど精査してまいりました。

売上高におきましては、コロナ禍では落ち込んでいた、サングラスや補聴器が堅調な伸びを示しており、売上高の増加を牽引しております。また、移転を伴う出店、改装などの店舗投資を計画的に行っており、1店舗当たりの売上高の向上と利益の改善に引き続き取り組んでまいりました。

この結果、国内の売上高は10,551百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益503百万円（前年同四半期はセグメント利益7百万円）となりました。

〔海外事業〕

海外子会社におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどなくなり、全ての法人が通常営業ができる状態となっております。中国法人におきましては、前年は再びのロックダウンにより休業状態が続いていたため営業損失額も大きかったですが、今年は通常営業ができていることや、不採算店の退店など店舗の整理も進めており、営業損失ではあるものの、損失額は減少し改善傾向にあります。なお、東南アジアの法人につきましても、順調に改善しており海外法人合計の増収増益に貢献しております。

また、将来性を見据えて準備を進めていましたカンボジア法人につきましても、前年連結会計年度末より連結対象としており、今後も東南アジア地域においては、医療（眼科）との協業に力を入れてまいります。

この結果、海外の売上高は1,511百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益48百万円（前年同四半期はセグメント損失31百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況）

総資産は前連結会計年度末に比べ485百万円増加して37,857百万円となりました。これは主に流動資産における、商品及び製品が402百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ61百万円減少して9,105百万円となりました。これは主に流動負債における支払手形及び買掛金が290百万円増加したものの、未払金が163百万円、未払法人税等が261百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ547百万円増加して28,751百万円となりました。これは主に利益剰余金が559百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました通期連結業績予想につきまして、修正を行っておりません。

しかし、事業会社の業績推移や新規事業展開の進捗状況や世界情勢の変化等により、修正が必要と判断された場合には速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,858	12,682
受取手形及び売掛金	2,784	2,889
商品及び製品	7,517	7,920
原材料及び貯蔵品	683	633
その他	1,389	1,496
貸倒引当金	△121	△117
流動資産合計	25,111	25,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,620	3,565
機械及び装置（純額）	23	22
工具、器具及び備品（純額）	982	1,015
土地	653	653
建設仮勘定	5	52
その他（純額）	43	39
有形固定資産合計	5,328	5,348
無形固定資産	597	604
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,527	4,464
建設協力金	279	289
繰延税金資産	144	136
その他	1,528	1,656
貸倒引当金	△85	△85
関係会社投資損失引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	6,334	6,400
固定資産合計	12,260	12,353
資産合計	37,371	37,857

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,336	1,627
短期借入金	1,954	1,842
未払金	1,988	1,824
未払法人税等	469	208
契約負債	568	616
賞与引当金	230	149
店舗閉鎖損失引当金	12	2
その他	1,506	1,720
流動負債合計	8,067	7,992
固定負債		
退職給付に係る負債	44	46
繰延税金負債	81	108
資産除去債務	556	555
その他	416	402
固定負債合計	1,099	1,112
負債合計	9,167	9,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	22,799	23,359
自己株式	△8,692	△8,692
株主資本合計	26,837	27,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220	302
為替換算調整勘定	517	399
その他の包括利益累計額合計	737	701
新株予約権	170	176
非支配株主持分	459	476
純資産合計	28,204	28,751
負債純資産合計	37,371	37,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	11,508	12,022
売上原価	3,691	3,762
売上総利益	7,817	8,259
販売費及び一般管理費	7,842	7,707
営業利益又は営業損失(△)	△25	552
営業外収益		
受取利息	5	11
為替差益	208	286
受取手数料	2	2
貯蔵品売却益	0	2
協賛金収入	—	10
助成金収入	4	0
その他	52	60
営業外収益合計	274	373
営業外費用		
支払利息	2	2
支払手数料	2	2
その他	13	17
営業外費用合計	18	22
経常利益	230	903
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	18	14
減損損失	29	8
特別損失合計	48	22
税金等調整前四半期純利益	182	881
法人税等	102	149
四半期純利益	80	732
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	65	712

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
四半期純利益	80	732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	82
為替換算調整勘定	183	△108
その他の包括利益合計	179	△26
四半期包括利益	259	705
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	214	676
非支配株主に係る四半期包括利益	45	29

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,219	1,289	11,508	—	11,508
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	13	51	△51	—
計	10,257	1,303	11,560	△51	11,508
セグメント利益又は損失 (△)	7	△31	△24	△0	△25

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて14百万円、「海外」セグメントにおいて15百万円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,532	1,489	12,022	—	12,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	21	40	△40	—
計	10,551	1,511	12,062	△40	12,022
セグメント利益	503	48	552	△0	552

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて5百万円、「海外」セグメントにおいて3百万円の減損損失を計上しております。